【2025年10月 月間予定表 ―修学院校―】◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

10月の予定		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	土曜特訓〈理科〉
5	日	
6	月	
7	火	休校日
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	土曜特訓〈数学〉
12	日	
13	月	
14	火	休校日
15	水	学習報告会（非受験学年対象）
16	木	
17	金	
18	土	土曜特訓〈社会〉
19	日	
20	月	
21	火	休校日
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	土曜特訓〈理科〉
26	日	
27	月	第5回Ｖ模試（中3対象）
28	火	休校日
29	水	
30	木	実力テスト期間（小4～中2生対象）
31	金	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【8月度のMVP】

●小6　K・S さん
授業後も熱心に質問し、机に向かって勉強していた姿勢を評価しました！

●中1　K・M さん
宿題はいつも空欄がなく、塾にいる間も余念なく勉強に打ち込んでいました！

●高2　S・N さん
学校のテストで良い点数を記録！努力が少しずつ結果に表れ始めました！

【 はてな？の感性 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

人間が空を飛べるはずがない。
誰もがそう思っていた時に、「いや、飛べるだろ」と疑った自転車屋さんがいた。
ライト兄弟、彼らがいたからこそ、いま空を見上げれば飛行機が飛んでいます。

「ひとつのものに狂えば、いつか必ず答えに巡り合う」
これは、不可能だといわれた無農薬のリンゴ栽培を、
10年以上に及ぶ執念の研究で見事成し遂げた木村秋則（あきのり）さんの言葉です。
ひとつのものに狂ったとき、不可能の扉は開くのです。

かつて日本に、新しい時代を生み出したいと、その1点に狂った男がいました。
ときは幕末。
当時、鎖国中の日本にアメリカが黒船で乗り込んできました。さらにイギリスやフランスまでも。徳川幕府はオロオロします。このままでは日本は侵略されてしまう…。
古き体制を終わらせて、いまこそ日本を新しく立て直すときです。
そんななかで立ち上がったのが、高杉晋作です。

晋作の属する長州藩（山口県）は「徳川幕府には歯向かわない」という保守派が主流でした。
だからまずは藩内で革命を起こして、「幕府を倒す」という藩論に変えなければいけません。
しかし、晋作の呼びかけに応じたものはわずか84人。
それに対して、敵は2000人。しかもその背後には幕府軍が15万人も控えているのです。
あまりに無謀です。それでもやる！いま、やらなければ天下は変わらない。
いまこそ狂うときだ。高杉晋作は、こう宣言します。
「これより、長州男児の腕前をお見せする」
晋作は、ひらりと馬にまたがり、雪明かりを頼りに出陣していきました。
総勢84人。いざ、下関へ。
まずは、下関の奉行所を奪取！続いて軍艦の奪取に成功！
この快挙の知らせを聞いて、長州藩の商人や農民たちが晋作に協力し始め、同志は増え、
ついには2000人近くにまで達します。
そして10日間に及んだ激戦を経て、勢いに乗る晋作たちのクーデターは成功するのです。
これにて、長州藩は徳川幕府からの独立を果たします。
王者・徳川幕府と真っ向勝負するという藩が日本で初めて誕生したのです。
そして、この長州藩と、近代化を進めていた薩摩藩の手を結ばせたのが坂本龍馬です。
その後、薩長連合軍は、幕府を倒し、見事、明治維新を成し遂げます。

しかし、晋作の身体はそのときすでに病に侵されていました。
新しい時代を目にすることなくこの世を去ってしまいます。
「おもしろき　こともなき世を　おもしろく…」
これは晋作の辞世の句です。
「おもしろくない世の中をおもしろく生きていくために、あなたならどう考える？」
を問いとして上の句を詠（うた）いました。
これを受けて、当時の、晋作の世話をしていた女性はこう結びました。
「住みなすものは　心なりけり」と。
おもしろく生きられるかどうかは、現実が決めるのではない。あなたの心が決めるのだと…。
それを聞いた晋作は、にっこりほほえんで、満足そうな表情で、眠りにつきました…。

これが日本の夜明けのストーリーです。
幕末の政治のあり方や、社会を、不思議に思った若者たちが、明治維新を成し遂げました。
彼らが目の前の現実をあたりまえだと感じていたら、いまの日本はなかったかもしれません。
彼らの感性に、日本は救われたのです。

「人間の最初に衰えていく機能は、不思議さを感じる心」by きつかわゆきお

子どもの頃は、いろんなことが不思議だなって思いましたよね。
若さとは、不思議を感じる心なのかも。

ある小学校3年生の生徒
「せんせー、バイキンマンって哺乳類？」「……」

す、するどい。確かに哺乳類に見えるけどバイキンなんだから菌類のはず（笑）
子どもってステキ♡

塾長　山田　大介

◇立誠名物『超ハードな夏期講習』を乗り切った中3生。その中から成績優秀者を選定しました。毎日毎日宿題に追われながら夜中まで勉強・・・。本当によく頑張りました。

《最優秀者》　S・T 君　・　M・Y 君